



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年11月号

第18号

平成28年11月24日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

朝夕冷え込む季節になって参りました。初雪も降り冬の到来を感じさせますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

雪の季節に備え、ダムサイトに設置しているインフォメーションセンターと展望台は11月いっぱいをおもちまして撤去致します。かわら版やダムカードをご希望の方は現場事務所までご連絡下さい。

師走も近づき、なにかと忙しくなる時期ですが、お風邪などお召しになりませんよう、お気を付け下さい。



展望台からのダムサイトの様子

工事進捗状況

基礎地盤検査

基礎掘削完了後、ダム本体のコンクリート打設を行う前に基礎地盤検査を行います。ダムは、大量の水を堰き止めるため、大きい水圧に耐えうる十分な強度の有する基礎地盤の上に造る必要があります。したがって、基礎地盤を十分調査し、詳細な安定計算を行った上で、基礎地盤の状態を確認し、ダムを載せる基礎岩盤として適しているかを確認します。

そして基礎地盤検査で全ての条件を満足することが確認できた後に、コンクリートの打設を行います。



基礎地盤検査の様子(現地確認)



基礎地盤検査の様子(資料確認)

11月の出来事

最上町善行表彰

平成28年度最上町定例善行表彰を受賞し、11月3日に行われた表彰式に出席しました。豪雨・台風災害時の排水作業等が赤倉地区の被害軽減に貢献したことでの受賞となりました。この受賞を励みに、これからも地域の皆さまのお役に立てるよう努めて参ります。



表彰式の様子

【小国川漁業協同組合】



10月24日に小国川漁業協同組合の皆さんが現場見学にいっしょにきました。工事状況や濁水処理設備などを見学して頂きました。



11月4日には赤倉小学校・あかくら幼稚園の皆さんが現場見学にいっしょにきました。全学年の児童のみなさんと先生方に参加して頂き、ダム建設について学んで頂きました。お寒い中、お越し下さいましてありがとうございました。

現場見学会

【赤倉小学校】



新入社員奮闘記



ダム本体打設の様子

11月に入り、私はダム本体のコンクリート打設の施工管理を任せられるようになりました。良質なコンクリートを打設できているか、締固め等の施工はしっかり行われているか等の確認を行っています。打設が完了するまで8時間程度かかることもあり、忙しい日々が続いています。

そんな中でも、自分が打設を担当した躯体が出来上がっていくのを目にするとやりがいを感じ、活力を持って仕事に取り組みます。

来年以降も打設は続きますが、これからも良質なダムができるよう努力を続けていきます。(鈴木)

発注者：山形県最上総合支庁
施工者：前田・飛鳥・大場JV
連絡先：〒999-6105

山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。